

# 2021年6月27日 主日礼拝 <ギデオンサンデー>

司 会  
祈 禱  
奏 楽

賛 美 讚美歌494番「わが行く道 いついかに」  
(雲が雨で満ちると) (聖霊の主よ)

主の祈り

聖 書 ①② ヨハネによる福音書7章37~44節 (P149)  
③ マタイによる福音書4章1~11節 (P4)

音 楽 YANCHA 手話賛美 (V)

メッセージ ①② 「River ~生ける水の源~」 坪井永城副牧師  
③ 「四次元時計は狂わない」 大川従道主任牧師  
(知の巨人・立花隆氏を偲んで—)

賛 美 「いつくしみ深き友なるイエスは」(讚美歌312番) 献金  
(屋野様ご召天!)

頌 栄 「あなたは愛されるため生れた」アーメン  
祝 禱

「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、  
たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、  
いつまでも死なない。」  
(ヨハネ十一の二十五~二十六)

## 【大和ニュース】

☆本日は「ギデオンサンデー」です。聖書を無料で配布するという世界的な働きです。

本日の礼拝献金をこの聖務のためお捧げいたします。

- ・ 本日、J.plus(青年・学生・中高生)のつどい。楽しくもあり、有意義です。
  - ・ 本日、12時半より責任役員会があります。(シャローム館)
  - ・ 今週も祈禱会を大切に！ ①水曜夜7時 ②木曜朝10時半。説教は小林副牧師。
- ☆祝！御結婚！浅井宣教師と田中様。土曜午後2時半。泉チャペルにて。
- \* 今年も半年守られたことを感謝し、「上半期感謝献金」を献げましょう。  
宣教師及び、牧師、伝道師の家族のために用いられます。袋は受付に。

## 石の枕

「キリスト・イエスにあるわたしの同労者プリスカとアクラとに、よろしく言ってほしい。彼らは、わたしのいのちを救うために、自分の首をさえ差し出してくれたのである。彼らに対しては、わたしだけではなく、異邦人のすべての教会も、感謝している。」

(ローマ人への手紙16章3節、4節)

「同労者」とは、ギリシャ語で「一人では運べないテーブルの四隅を一緒にもってくれる人」「協力者」とも訳せる。

教会スタッフの坪井兄は、立派な会社の社員であったが、定年を早めにして、一信徒ではあるが、残りの全生涯を主に捧げて、大和教会の発展の裏方を全身全霊をもってなさって下さった。このような献身なしには、この教会の成長・充実はありえなかった。主の聖名を心から崇めたい。

彼は6月末で、この教会を退職し、秋からは長野県原村において、宣教師や牧師の休息の家を運営する予定。ただ今、建築中であるので、9月下旬までは大和と長野を行ったり来たりの生活。奥様も、まさに「同労者」で今日まで、教会補教師として大活躍をして下さった。

まさに、上記のパウロ先生を支えた「プリスカとアクラ」である。14年もの間、「キリストのからだなる教会」に仕えて下さって、心から感謝したい。天からの主の御声が、聞こえてくるようだ！「善かつ忠なる僕よ！よくやった！」

私大川は、在米の桑島姉の御好意により、先週の月曜日、サントリーホールにおける「琉球交響楽団・はじめての東京公演」に出席できた。

指揮は大友直人氏。ピアノ演奏は辻井伸行氏。チェロにはポーマン先生が加わっておられ、レベルの高い大饗宴であった。オーケストラは、3月に沖縄で聴いた演奏の何倍もすばらしかった。特に辻井さんのピアノは、うわさどおりの天才演奏で驚きの連続。前半にモーツァルトとラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番ハ短調」であったが、想像をはるかに超えた演奏で、一生忘れられない夜となった。コロナ禍でブラボーの発声は禁止であったが、拍手は鳴り止まず……。

盲人の辻井青年が、指揮者の腕をもって出入り。拍手を受ける彼の腰の低さに感動した。聴いてくださってありがとう！の思いが伝わってきて、またまた感激！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:使徒8章~11章 Bコース:ヨブ10章~28章